

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010010

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	1	主体的な健康づくりの促進	政策事務分類	4	法定自治事務	
事業名	歯科保健事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5	保健福祉課	
事業主体	雄武町		関係課	8	保育所	
事業指標	3歳児健診時のむし菌のない子どもの率			12	教育委員会教育振興課	
事業目標	全道平均値以上		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加 住民協働	有	主体的な歯科保健向上への取組	関係例規・法令名	有	健康増進法、母子保健法他	
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	歯科保健事業の実施により、生涯にわたり食事・咀嚼能力を維持するなどの生活の質の向上を図る。	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 ・フッ素塗布 ・むし菌予防・歯科健康講座	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 ・フッ素塗布 ・むし菌予防・歯科健康講座 ・フッ化物洗口推進事業	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 ・フッ素塗布 ・むし菌予防・歯科健康講座 ・フッ化物洗口推進事業	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 ・フッ素塗布 ・むし菌予防・歯科健康講座 ・フッ化物洗口推進事業 ・成人歯科健診・相談事業 ・妊婦歯科健診・歯科相談	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 ・フッ素塗布 ・むし菌予防・歯科健康講座 ・フッ化物洗口推進事業 ・成人歯科健診・相談事業 ・妊婦歯科健診・歯科相談	
	事業費(千円)	3,830	674	674	674	904	904
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	150	30	30	30	30	
	地方債	0					
	その他	130	130				
一般財源	3,550	514	644	644	874	874	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,865	407	519	526	656	757
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,865	407	519	526	656	757	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	健康増進事業道補助金 フッ素塗布個人負担金	【評価・実績】	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 延 21回 222名 ・フッ素塗布 6回 291名 ・むし菌予防講座 4回49名 計562名 ※事務事業評価結果 A-継続/拡充	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 延 23回 331名 ・フッ素塗布 6回 380名 ・むし菌予防講座 6回 62名 ・フッ化物洗口推進事業・保護者説明 6回 36名 ※事務事業評価結果 A-継続/拡充	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 延 32回 348名 ・フッ素塗布 6回 281名 ・むし菌予防講座 8回 216名 ・フッ化物洗口推進事業・保護者説明 11回 85名 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 延 31回 294名 ・フッ素塗布 6回 312名 ・むし菌予防講座 6回 193名 ・成人歯科健診 2回 153人 ・妊婦歯科健診 6回 11人 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	3歳児健診時のむし菌のない児童の率	3歳児健診時のむし菌のない児童の率	3歳児健診時のむし菌のない児童の率	3歳児健診時のむし菌のない児童の率	3歳児健診時のむし菌のない児童の率
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	60%	77%	78%	73%	84%
		全体達成率	11%	24%	38%	55%	75%
	備考欄						

事業名	歯科保健事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	小野 美和

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	3歳児健診時むし歯のない子どもの率	
【抱える課題やニーズは】	消化器の一部である歯科、口腔機能の維持向上が健康生活には重要である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	むし歯や歯周疾患の発症予防ができる。	① 3歳児健診時むし歯のない子どもの率(平成25年全道平均比)	目標年度	平成29年度
			目標値	73.1%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生涯を通じておいしく食事を摂り、健康的な生活ができる町民が増える。	② 歯科保健関連事業参加者数(前年比)	実績値	58.3%
			達成度	79.8%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	歯科保健指導の実施	乳幼児健診、健康相談等各事業時に歯科医師、歯科衛生士から口腔衛生について知識や具体的予防方法の講話、個別指導の実施		
	フッ素化合物塗布事業	1歳以上の乳幼児に対するフッ素化合物塗布事業の実施		
	はみがき教室の実施	町内全小学校、保育所等との連携により口腔ケア方法等の講話の実施。各老人クラブ等でも口腔ケアについて講話実施		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	歯科口腔保健の推進に関する法律、母子保健法、健康増進法等で市町村歯科保健事業は必須である。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	年度によるバラつきが見られ、当該年度はむし歯の無い児童の割合は低下した。妊娠期からの口腔ケアの必要性や、集団健診等での歯科保健指導の充実が必要と考え、実施回数を増加し機会を充実させた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	乳幼児健康診査や保育所事業、老人クラブ等各事業と合わせた歯科保健事業を行うことで効率化を図った。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	歯科保健すべての受益者負担はない。各年代への取組や広報、ホームページでの周知等公平に対応している。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>B</b>		
本年度は目標達成はできなかった。成人や妊娠期を対象に歯科健診や相談の機会を設け、各種事業で口腔ケアの必要性を伝えることができた。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
歯科保健は健康的な生活に重要な役割を示しており、現状の事業を継続し町民の口腔衛生の向上に努めたい。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了 ○休止 ○廃止